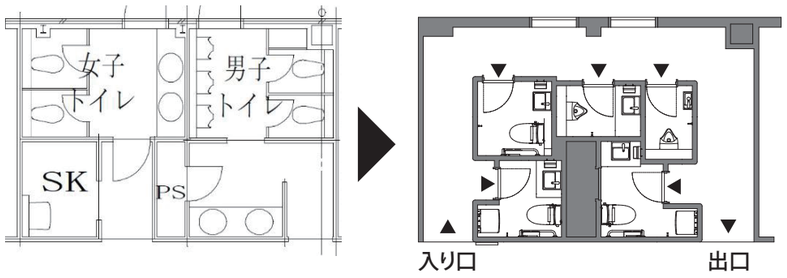
東洋インキ株式会社 埼玉製造所

埼玉製造所ではDE&Iを推進していく中で、2017年度より製造所内のさまざまなトイレ改修を行っている。今回は、性的マイノリティの方のトイレ利用に焦点を当て、性別に関わらず誰でも自由に利用ができることをコンセプトにした「Everybodyトイレ」を地区勤務者や来客も使えるパブリックエリア（管理棟2F）へ設置した。大便器ブースを3つ、小便器ブースを2つ配置し、各ブースに手洗い、鏡、ハンドドライヤーを設け、床から天井まで壁に隙間のない構造でプライバシーを確保している。トイレ入り口には利用可能なブースを示す表示パネルを、各ブースにも使用中を示すランプを設け、スムーズな利用環境を提供している。

施　　主：東洋インキ株式会社
設　　計：株式会社深見クリエイト
施　　工：株式会社深見クリエイト
所 在 地：埼玉県川越市栄1
竣　　工：2023年9月（改修）

パブリック向けクイックタンク式床置便器	：BC-P110S・DQ-PA150CH
シャワートイレ	：CW-EA23A
センサー一体形ストール小便器	：U-A12AP
マーベリイナカウンター スタンダードMタイプ	：MB-500F
角形洗面器、自動水栓 オートマージュA	：L-531, AM-300CV1
角形手洗器、立水栓	：L-35, LF-48
ハンドドライヤー	：KS-580AH
多用途手すり	：KF-920AE70D12J
チェンジングボード	：AC-CB-01



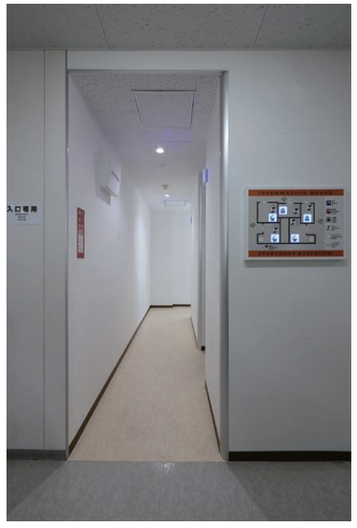
改修前
トイレ平面図

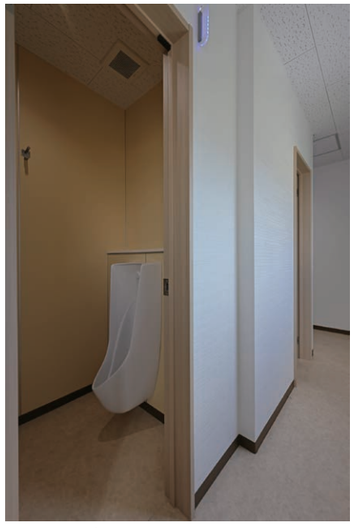
改修後

大便器ブース

内部通路

日本をはじめ世界の隅々へ印刷インキを中心とした製品ならびに関連サービスを提供する企業の社屋。
改修により、性別を問わず利用できる個室完結型のトイレを設置。


トイレ入り口まわり

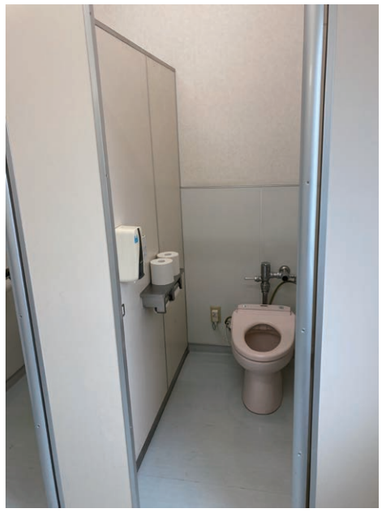

小便器ブース

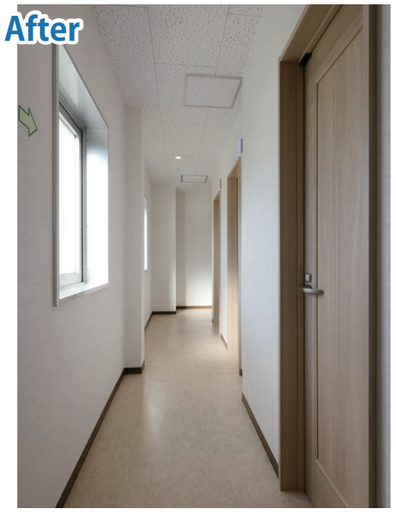
大便器ブース・チェンジングボード設置

建物外観

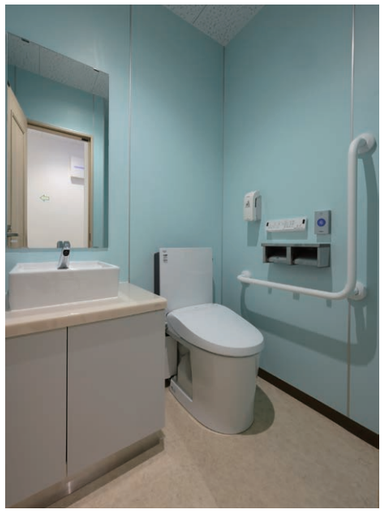
掲載内容及び写真・図版の無断転載はかたくお断りします。（許可なく転載・流用した場合、損害賠償が発生します。）

東洋インキ株式会社 埼玉製造所

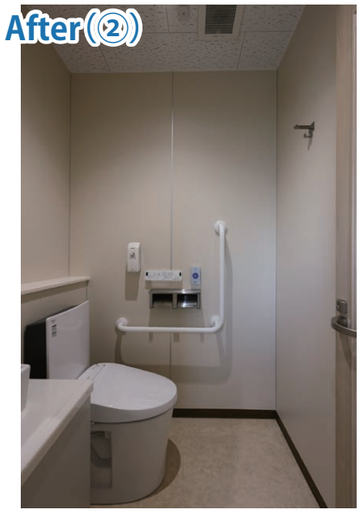




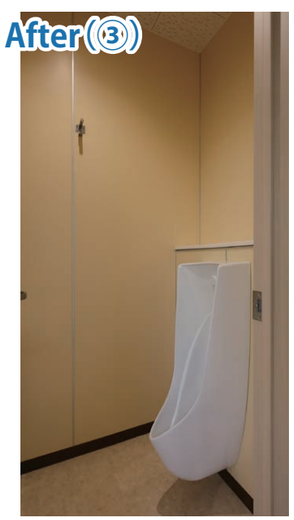
男女別トイレを「Everybodyトイレ」に改修。既存の窓を活かした奥まで進んでも明るい空間。一方通行の設計で、長時間の利用時にはランプが点滅する。



用足しから手洗いまでをブース内で完結。着替えにも対応できるチェンジングボードを設置し、利便性も高めている。

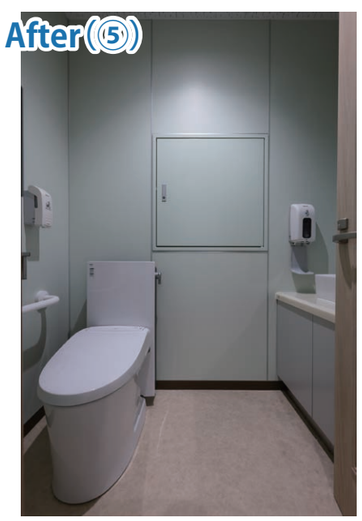


壁を二重構造にして音漏れに配慮。



清掃性と回転率を考慮し、小便器のみのブースを設置。

小便器ブースは暖色系の明るい雰囲気に。



リラックスできるゆとりのある空間。

お施主様の声

Q 改修の目的は何ですか？

A 多機能トイレは数ヵ所設置していますが、数の問題、周囲の目線等で利用のしづらさが挙げられます。性別で区別しない完全個室タイプのトイレを設置することで利用者側の選択肢を広げ、誰に対しても気兼ねなく安心して利用できるトイレ環境を整備することを目的としました。

Q どのようなトイレをイメージされましたか？

A 身体と自分が認識している性が異なる方や、見た目に分からない障害のある方など、トイレの利用に困っている方だけでなく、気分転換やひとりでゆっくり利用したい方など、勤務者全員が安心して使えるトイレを目指し、食堂横のトイレを改修しました。床から天井まで壁に隙間のない構造でプライバシーを確保した他、トイレ入り口には利用可能なブースを示す表示パネルや各ブースにも使用中を示すランプを設け、スムーズな利用を促す工夫もしました。
また、「Everybodyトイレ」を作る必要性を周知するため、勤務者全員にeラーニングを実施し、多拠点の社員にも理解してもらうために社内イントラでの情報公開を行っています。

Q 「Everybody トイレ」設置の思いを教えてください

A トイレ利用は、人間の生存や健康に不可欠であるとともに、尊厳に関わるプライベートな行為です。私たちは、多くの場面において、性別で分けられたトイレを利用してきたため、この「Everybody トイレ」には抵抗がある方もいらっしゃるかもしれません。しかしながら、このトイレの存在によって救われる方もいるかもしれません。
バリアフリーというと、これまではどこか身体の機能障がいに重きが置かれてきました。これからは、身体と自分が認識している性が異なる方や、見た目には分からない障がいも含む多様な利用者にも視点を移し、共生社会の実現に向けた確実な一歩を、artienceグループのマザー製造所である東洋インキ 埼玉製造所から踏み出します。

入り口に設置した表示パネル。各トイレの設置設備や利用状況がわかる。

掲載内容及び写真・図版の無断転載はかたくお断りします。（許可なく転載・流用した場合、損害賠償が発生します。）
【業務施設】jir_off_se_2312b

LIXIL